

## 第4章 目標達成のための具体的な取組

### 1 省資源・省エネルギーの推進

#### (1) 温室効果ガス削減行動

##### ア 電気使用量の削減

昼休憩や晴天時の窓際の照明は、支障のない範囲内で消灯する。

廊下・階段等の共用部分の照明は、支障のない範囲内で消灯する。

夜間や休日、事務室内の未利用スペースの照明は、支障のない範囲内で消灯する。

会議室、更衣室、トイレや湯沸室などの照明は、使用後は必ず消灯する。

パソコンの消費電力削減のため、「スタンバイ」、「休止状態」モードの設定を徹底するとともに設定時間の短縮化に努め、昼休憩や会議などで席を外している間は電源を切る。

コピー機の省電力（予熱）モードを徹底する。

長時間、電気機器を使用しない場合は、待機電力を削減するためコンセントを抜く。

最寄りの階へ移動は、エレベーターの利用を控え、積極的に階段を利用する。

エレベーターが複数台数ある場合の稼働については、間引き運転を行うなど効率的な運用に努める。

エレベーターの身障者用ボタンは、むやみに使用しない。

業務に支障のない範囲内で水曜日及び給料支給日等は一斉退庁日とし、定時退庁を徹底する。

自動販売機は、設置台数を見直すとともに、省エネルギー型への転換・更新を図る。

手動ドアからの出入りを徹底する。

#### マメ知識 【水道水とエネルギー】

1立方メートルの水道水を供給するには、約0.4kwhの電気エネルギーが必要です。これは、40wの蛍光灯を10時間点灯したときの電力量と同じです。省エネ・地球温暖化防止の観点からも節水に努めましょう。

## イ 水の使用量の削減

庁舎の水道水圧を調整し，節水を推進する。

水道蛇口へ節水ゴマを取り付けるなど，水使用量を抑制する。

食器洗いや洗面，歯磨きなどをするときには，こまめに水を止める。

トイレに擬音装置を設置するなどし，水使用量を抑制する。

## ウ エネルギー供給施設等の燃料使用量の削減

会議室の冷暖房機器は，使用後は必ず運転を停止する。

冷暖房温度は，冷房時 28℃，暖房時 19℃ を目安に，適切な温度管理に努める。

冷氣・暖気の吹き出し能力の低下を防ぐため，ファンコイルユニットの周囲には物を置かない。

冷房効果を高めるため，外気温の高いときはできる限りブラインドを降ろす。

暖房用器具は，適切に清掃・管理し，効率的に使用する。

ガス使用後の確実な栓締め，沸かし過ぎの防止，炎（ガス量）の調整など，ガスコンロや湯沸器を効率的に使用する。

夏季のノーネクタイ運動及び冬季の一枚重ね着運動を実践する。

## エ 自動車の燃料使用量の低減

急発進，空ぶかしの抑制や経済運行速度の遵守などにより，エコドライブを実践する。

荷物の積み降ろし，人待ち，待機時は，アイドリング・ストップを行う。

業務に支障のない範囲内で自動車の利用抑制に努め，積極的に公共交通機関を利用する。

同一目的地への相乗りを行うなど，公用車の共同利用，合理的・効率的利用などに努める。

適正なタイヤ空気圧の維持など，適正な点検整備を徹底する。

近距離の移動については，徒歩，自転車利用に努める。

会議での来庁者の自動車使用自粛の協力を要請する。

## ( 2 ) 環境配慮率先行動

### ア 用紙類の使用量の削減

コピーは原則として両面印刷とし、用紙使用量を抑制する。

コピー機の使用後は、必ずリセットボタンを押し、ミスコピーを防止する。

片面コピー不要紙は、専用の回収ボックスに収集し、コピー機に専用トレイを設けて再利用するとともに、裏面をお知らせなどの簡易な回覧、新聞切抜きの台紙やメモ用紙等に再利用する。

会議の規模などに応じ、プロジェクター等を活用して、用紙使用量を抑制する。

使用済封筒は、通送用の封筒、資料袋、回覧袋、郵便袋等に再利用する。

文書・資料・印刷物・刊行物の部数やページ数は、必要最小限とする。

ファクシミリは送信票を廃止し、本文余白を利用する。

廃ポスターの名刺等への再利用を図る。

庁内LAN（電子メール、掲示板、文書箱等）の積極的な利用により、用紙の配布を抑制する。

シュレッダーの使用は必要最小限とする。

### イ 備品・事務用品等の長期使用等

机、椅子等の長期的使用を図るとともに、事務用品や電気製品等は修理して再利用する。

文具等は大切に使用し、詰替などにより長期使用する。

フラットファイルなどのファイリング用品は、再利用する。

物品等は、リース又はレンタル契約による効率的利用を推進する。

庁内LANの「物品リユースコーナー」を積極的に活用する。

### ウ 廃棄物の減量化

紙コップなどの使い捨て容器の使用を自粛する。

コピー機やプリンタのトナーカートリッジは、業者による回収を徹底する。

不要な配達物の発送先に対して、以降の発送の中止を伝達する。

マイ水筒、マイバッグ、マイ箸等を持参し、使い捨て製品による廃棄物の抑制に努める。

## エ 廃棄物のリサイクル

事務室において発生する紙ごみは、コピー用紙の箱や古い段ボールを活用するなどして、分別回収ボックス（コピー用紙、新聞紙、段ボール、雑誌類等）を設け、分別回収を徹底することにより古紙回収率を高めるとともに、個人用のごみ箱をなるべく少なくする。

事務室において発生する廃棄物のうちリサイクル可能なものについては、既存のごみ箱を使い分けるなどして活用を図り、分別回収ボックス（スチール缶、アルミ缶、びん、ガラス類、布類、ペットボトル等）を設け、分別回収を徹底する。

庁舎等が所在する市町の事業系一般廃棄物の分別収集のルールに沿ったごみ分別を徹底し、資源化の取組に協力する。

## オ その他

資料等を発送する際は、過剰な包装をしない。

## 2 環境に配慮した製品等の購入・使用

### (1) 温室効果ガス削減行動

OA機器、家電製品、照明及び温水器等の購入に当たっては、広島県グリーン購入方針に基づき、省エネルギー型の機器の調達に努める。

公用車の更新に当たっては、原則として低公害車等を導入する。

### (2) 環境配慮率先行動

物品等の購入に当たっては、使い捨て製品を極力抑制し、詰め替え可能な文具や簡易な包装のものを選択する。

紙類、納入印刷物、文具類、オフィス家具類、制服・作業服、インテリア・寝装、作業用手袋、その他繊維製品等の購入に当たっては、広島県グリーン購入方針に基づき、調達目標の達成に努める。

必要とする物品等に広島県登録リサイクル製品があるときは、登録リサイクル製品を優先的に調達する。

#### マメ知識 【携帯電話の充電器】

夜寝る前に携帯電話の充電器をセットして、朝までそのままなんてことはありませんか。充電が完了しても、そのままにしておく約1wの電力を消費しています。また、携帯電話を充電器から取り外していても、充電器をそのままコンセントに接続しておくと同様に約1wの電力を消費してしまうのです。充電が終わったら、コンセントを抜くよう心がけましょう。

### 3 建築物の建設・管理等における配慮

#### (1) 温室効果ガス削減行動

庁舎の建築に当たっては、高断熱化等の施工により熱負荷の抑制に努める。

改修に伴い、十分な省エネルギー効果が見込まれる施設については、E S C O事業を導入するよう努める。

エネルギー施設の改修を行うに当たっては、太陽光発電システムなどの新エネルギーやコージェネレーションシステム等を導入するよう努める。

水田や畑等での窒素含有肥料の施肥に当たっては、使用量の適正化を行う。

#### (2) 環境配慮率先行動

##### ア 設計・施工時等

庁舎の建築に当たっては、自然採光を活用した設計となるよう配慮する。

広島県登録リサイクル製品を優先的に調達するなど、再生資材や建設副産物の有効利用を促進する。

建築物の規模・用途に応じ、雨水利用や排水の中水利用設備の導入を検討する。

給水装置の末端に、必要に応じて感知式の洗浄弁や自動水栓など、節水に有効な器具を設置する。

透水性舗装や浸透ます等を必要に応じて設置し、雨水の地下浸透とかん養を図る。

庁舎内に分別回収（リサイクル）のための場所を確保する。

##### イ 建築物等の維持管理

雨水利用・排水の中水利用設備等の日常の管理の徹底を図る。

有害物質等の排出の削減や適正な処理が図られるよう、設備の維持管理を行う。

##### ウ 緑化等の推進

敷地や屋上について、環境に配慮した緑化の計画的な推進や植え込み等の適切な維持管理を図る。

#### マメ知識 【アイドリング・ストップ】

普通乗用車のアイドリング10分間当たりのガソリン消費量は、約140ccとされています。1分以上停止することが予想される場合は、こまめにエンジンを停止するようにしましょう。省エネ・地球温暖化防止の観点からも節約に努めましょう。

#### 4 職員の環境保全意識の向上

##### (1) 研修及び情報提供の実施

職員の環境保全意識の向上を図るため、環境に関する講演会・研修などを計画的に実施するなど、環境問題研修の機会を提供する。

職員に対し、庁内LAN（全庁掲示板等）等により、環境保全活動に関する情報を提供する。

実行計画に関する説明会を開き、運動の推進を図る。

##### (2) 環境保全活動への参画

職員が環境に関する研修、講演会、ボランティア活動などに参加しやすい職場づくりに努める。

マメ知識 【どれだけ環境ラベルを知っているかな？】

詳しくは環境省HP <http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>

またはe c oひろしまへ [http://www.pref.hiroshima.jp/eco/i/i\\_index.html](http://www.pref.hiroshima.jp/eco/i/i_index.html)



マメ知識 【エコベンダー】

エコベンダーとは省エネ型清涼飲料用販売機のことです。

夏場の自販機の消費電力は1台が約500wで、日本全国には約200万台の清涼飲料用自動販売機があり、それがフル稼働すると約100万kw（大型発電機1基分）の電力が消費されることになります。

夏場の10時から13時の間に通常より3～5冷やしこみ、電力供給のピークである13時から16時に冷却運転を停止することにより、消費電力を約90%もカットします。

皆さんの職場の自販機はエコベンダーですか？

マメ知識 【可燃ごみと古紙回収】

過去5年間の県庁の本庁舎での廃棄物の排出量を見てみると、可燃ごみは多少の波があるものの横ばい状態ですが、古紙の回収量は確実に減少しています。

可燃ごみの処理費は、広島市の場合1kg当たり8円のコストがかかりますが、古紙（OA紙、新聞紙、雑誌類を問わない）として業者が回収する場合、1kg当たり9.45円の県の収入になります（平成16年度実績）。

ごみの減量化とリサイクルの推進、そして県財政への貢献のためにも分別回収に努めましょう。